

洪水時に混乱しないように

あなたの町の防災タイムラインを作ってみませんか？

1. 犠牲者を伴う洪水が多発しています 堤防決壊があった長野市では避難遅れ等も指摘



令和元年10月の台風19号濁流が長正橋直下まで！



長岡市でも信濃川などの洪水の可能性がります。家庭（自助）で、町内（共助）で洪水への備えを進めてください。



特に、警報が発令された場合に、防災関係者があわてずに動けるように、役割を決めておいたり、訓練しておくことが大切です。

2. 洪水時の避難に関する情報が防災の基本

警戒レベル3は高齢者のみならず、要配慮者や避難行動要支援者も避難を開始する大事な合図だよ！

要配慮者（災害時要援護者）
避難行動要支援者
自宅で生活している人たちのうち、自力避難が困難で、避難にあたって特に支援を要する人
施設入所者や入院患者等は含まれません。

市町村の情報	住民が取るべき行動	警戒レベル
	自らの避難行動を確認	2
高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難	3
避難指示	命の危険 直ちに安全確保！	4
警戒レベル4は例外なく、全員即避難だよ！		4
緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！	5

警戒レベル4までに必ず避難！

3. はたして対応できるか？

令和元年10月に発生した台風19号により、長岡市には「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」が発令。

この警報に対する町内の対応について聞き取りを行った。



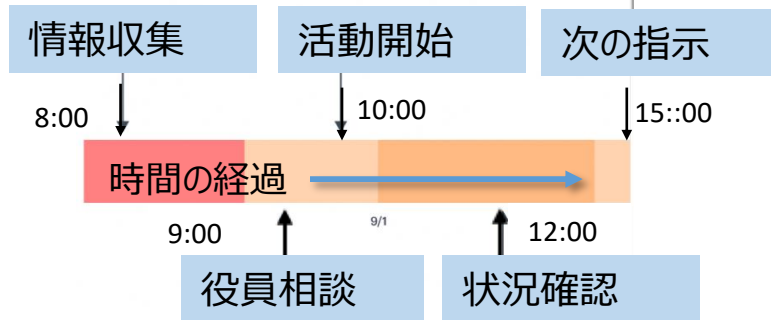
初動に問題ありです！

■自主防災会の役員、スタッフが落ちついて対応できるようにするための取組です。

地区	活動	具体的行動など
H連合 丘陵含む	無し	「うちの地域は危険無いので騒ぐ必要なし」で情報出さず。
O連合 信濃川沿い	△	・半数ほどの町内では要支援者に連絡し、支援したが過半数町内はアクションなし。
M連合 信濃川沿い	△	・要支援者を訪ね、避難所に誘導した町内もあつたがアクションなし町内多い。
T町 信濃川沿い	○	・準備情報で町内会長から班長に指示、12名の要支援者を訪ねた。
N町 信濃川沿い	○	・町内会長指示で班長が全対象者に知らせ、高齢者13名が指定避難所に避難した。
S町 ほぼ中心部	△	・町内会長が役員、班長に指示するも「要支援者名簿が非開示であった」。
O町 中心部	△	・町内会長から班長に指示し、高齢者に伝えたが、避難者は「ゼロ」
M町 中心部	△	・町内会長は動かさず。民生委員が12名の要支援者に声掛け、6名が避難

中越市民防災安全士会でR元年11月ヒアリング

タイムラインとは？



スケジュール表、予定表のことです

4. マイ・タイムラインとは

■マイ・タイムラインとは水害に備えて、自分や家族の取るべき行動を整理し、時間ごとにまとめた「避難行動の計画」です。「いつ」「だれが」「どのような準備や行動をするのか」をあらかじめ決めておくことで、いざという時に落ち着いて行動できます。

■家族で相談しながら作ってみましょう。

2-3日前 1日前から当日

警戒レベル3 高齢者等避難

警戒レベル4 避難指示

全員が避難！

持出品の不足チェック

高齢者、傷病者 避難開始

車が高台への避難検討

5. わが町の防災タイムラインとは

- ①自主防災会などが「防災関係者の行動開始タイミングや役割」を明確にしたものです。
- ②逃げ遅れとなりやすい「避難行動要支援者」などに対する具体的な支援策を含みます。
- ③警戒レベル3や警戒レベル4に対応した避難行動が確実に取られるよう、住民に行動を呼び掛けたり、避難の支援をするなど大切な行動を計画にしたものです。

災害の程度	家族・町内	家族のタイムライン	わが町の防災タイムライン
平常時にしておくこと		・避難先を知る ・警報の意味を知る ・ハザードマップを理解する	・避難先を決めておく ・支援について決めておく ・情報伝達の仕組み作りと訓練
警戒レベル1	身の回り点検		活動準備、発生時の想定
警戒レベル2 ・信濃川早期警戒情報	避難準備		臨時防災会議 避難指示
警戒レベル3	高齢者等避難		警報を伝える 避難の支援
警戒レベル4	全員避難		警報を伝える 避難確認
警戒レベル5	より安全な場所に		安否確認

<警戒レベル4までに必ず避難！>

6. 平常時の仕組みづくり、準備の大切さ



事前の準備がないと、臨時防災会議ひとつ開くことができません。名簿がないと、だれがだれを支援するのかわかりません。同様に「全員避難」できたかどうか、確認しようもないですね。



<平常時に準備しておくこと>

- ・(臨時)防災会議のことについて決めておく
- ・要支援者をサポートする仕組みを作る
- ・情報伝達方法を決め、訓練する
- ・避難先について地域で合意しておく
- ・避難所運営への関わりを知っておく
- ・名簿整備など「安否確認」方法を決めておく



あなたの町の防災タイムラインを学びませんか？

「わが町の防災タイムライン」の出前講座を用意しています。

- ・自主防災会の会長、町内会長、防災委員など地域の防災リーダーの方々と一緒に「わが町の防災タイムライン」を学びます。
- ・講座の所要時間は1時間程度です。
- ・上記講座を受講した結果、「実際にわが町の防災タイムライン」作成を希望される場合は相談下さい。
- ・講座を検討、あるいは開催をご希望の方は長岡市危機管理防災本部 あるいは中越市民防災安全士会 電話0258-77-3918に連絡ください。
- ・アドレスは anzenshikai@nct9.ne.jp です。(土日ならびに火曜がお休みです。)